

物価変動等に伴う請負代金額の変更(スライド変更)について(

技術基準の種類:積算 通知日 : 平成11年9月14日

事 務 連 絡 平成11年9月14日

社団法人鳥取県測量設計業協会長 樣

鳥取県土木部長

物価変動等に伴う請負代金額の変更(スライド変更)について(通知)

このことについて、建設省中国地方建設局から別添のとおり事務連絡がありましたので通知します。 ついては、対象工事に関するスライド変更の適用について、下記により至急確認をお願いします。

記

1 適用対象工事 スライド変更の適用対象工事は、工期が14ヶ月以上の工事である。 このうち、今回のスライド変更の適用について確認する工事は、請負契約締結の日から12ヵ月を経過した 工事であり、かつ、残工事が2ヶ月以上の工事である。

- 2 スライド変更の確認方法 建設工事請負契約書第25条に基づき、別添「減額となる場合の契約書第25条(スライド条項)の運用に ついて」により行うこと。
- 3 提出様式 適用対象工事及びそのスライド変更の適用の確認について、各事務所において別紙様式により報告をお願 いします。
- 4 提出期限 平成11年9月22日(水)
- 協議・報告先 管理課企画室

長谷川、村尾 電 話 0857 26 7410 ファクシミリ 0857 37 1776

別添 1

リサイクル計画書 (概略設計・予備設計)

1.事業(工事)概要

発注機関名	
事業(工事)名	
事業 (工事) 施工場所	
事業 (工事) 概要等	
事業 (工 事)着手予定時期	

2 . 建設資材利用計画

建	3% 3%	资	材	₫利	用	重	②現場内利用 可能量	②再生材利用 可能量	④新材利用 可能量	⑤再生資源利用率(②+③)/⑥×100	備考	
±			岛			地山 m3	地山 m3	地山 m3	地山 m3	%		
砕			石			トン	トン	トン	トン	%		
アフ	スファル	ト温さ	含物			トン	トン	トン	トン	%		
						トン	トン	トン	トン	%		

最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する

3 . 建設副産物搬出計画

3. 建取删准初颁山引回							
建設副産物の種類	© 発生量	⑦現場内利用	②他工事への	②再资源化施設	心 最終処分量	①現場内利用率	備 考
		可能量	搬出可能量	への搬出可能量		(⑦∕®×100)	
建設発生土	挫山 m3	地山 m3	地山 m3		地山 m3	%	
コンクリート塊	トン	トン	トン	トン		%	
アスファルト・コンクリート塊	۲ ۷	トン	トン	トン		%	
建設汚泥	トン	トン	トン	トン		%	
取りこわし建物	件						

地図、航空写真、踏査等から検討する。 利用可能量等は,現時点で算出可能なものとする。 建設副産物の搬出計画について、基本的には全量を再利用することを原則として計画する。

1.設計概要

発生機関名	
垂托巻	
履行場所	
投軒概要特	
工事着手子定時期	

2 . 建設資材利用計画

建設資材		①利用	ı.	②現場内利用	③再生村 利用	②新村利用	③再生資源利用率	(4) 考	
				可能量	可能量	可能量	(20+30) ZO0×100		
	±	0		地加加3	Mg 山山3	Mg山m3	Mg山m3	96	
Г	肆	石.		トン	トン	لا ط	トン	96	
	アスフ	ァルト混合物		トン	トン	トン	لا ط	96	
				トン	トン	トン	トン	96	

最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

3 建設副产物搬出計画

	3 · 建议则准物颁出引回																
	指定副度物の種類	6) 発	生	ı	Ø	現場内	8	他工事への	Œ	再價良化施政	OD.	最終処分量	⑩現場內利用卒	(M)	考	
							利用可能量		做出可能量		への搬出可能量			(ᠿ∕Ġ)×100)			
	第1種 建設発生士			J	t t tllllllllllllllllllllllllllllllllll	3	Mb Julian 3		州 யா 3				Mg Ш m 3	96			
連	第2種 建設発生士			J	t t tllllllllllllllllllllllllllllllllll	з	州 山m 3		ி ற்யா 3				始 யா3	96			
殺発	第3種 建設発生土)	h t tlm	3	டி யா 3		Mg 山 m 3				ிறு மா 3	96			
生	第4種 建設発生士			J	b <u>b</u> 山m	з	டி யா 3		Mg 山 m 3				増加m3	96			
±	泥土(波渫土)			J	ŀ ĝ ∭்	з	Mg 山 m 3		றி யா 3				And Manual	96			
	숨 해			j	ி ற்யுள	з	∄ ற்யா3		ற் யுள் 3				増加m3	96			
	コンクリート塊				۲	٧	トン		ħ১	,	トン			96			
7.7	ファルト・コンクリート	塊			۲	b	トン		ħ۵	,	トン			96			
	建設発生木材				۲	ν	トン		ħ۵	,	トン			96			
	建 設 汚 泥				۲	b	トン		トン	,	トン			96			

建設発生土の区分(既存資料から判断するものとする) 第1種建設発生土…砂、礫及びこれらに準ずろもの。 第2種建設発生土…砂質土、礫質土及びこれらに準ずろもの。 第3種建設発生土…適常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準するもの。 建設発生未材の中には、伐開除根材及び剪定材を含む。 利用・搬出可能量は、現時点で算出可能なものを記載する。 建設副産物の搬出計画について、基本的には全量を裁量することを原則として計画する。

第4種建設発生士...粘性土及びこれらに準ずるもの。(第3種建設発生土を除く) 泥土(浚渫土) ...浚渫土のうち概ね q c 2 以下のもの。